

(様式第4号)

上田市林業振興協議会 会議概要

1 審 議 会 名	上田市林業振興協議会
2 日 時	平成27年7月9日 午前2時から午前4時30分まで
3 会 場	上田市森林センター 2階 会議室
4 出 席 者	関会長、飯田委員、内田委員、大平委員、柿蔭委員、金井委員、久保田委員、 倉沢委員、酒井委員、高橋委員、中村委員、西澤(一)委員、芳澤委員、
5 市側出席者	保科農林部長、倉澤森林整備課長、宮沢森林整備担当係長、中澤森林整備担当係長 岩下森林整備担当統括主査、齋藤森林整備担当統括主査
6 公開・非公開	公 開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍 聴 者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年7月14日

協 議 事 項 等

1 開 会 (中澤係長)
2 あいさつ (関会長、保科農林部長)
3 新任委員の紹介 (倉沢委員、中村委員)
4 議 事
(1) 副会長の選出 副会長 倉沢委員を選出
(2) 報 告 平成26年度森林整備事業報告及び平成27年度森林整備事業の主な施策 ・ 過去5カ年の森林整備面積について ・ 松くい虫防除対策について ・ 有害鳥獣駆除対策について ・ 治山、林道事業について ・ 森のエネルギー推進事業補助金について ・ 平成27年度森林整備事業の主な施策 以下質疑 (委 員) 新たな林道の計画、将来的な計画はあるか。 (事務局) 新たに林道を開ける計画はないが、要望があれば検討したい。 (委 員) 森林整備事業の中には、作業道開設のようなものがあるという理解で良いか。 (事務局) 森林環境保全直接支援事業に搬出する間伐事業の付帯工事として作業道の開設まで補助金が付く制度がある。 (委 員) 松くい虫対策作業が後手に回っている。もっと対策はないか。 (事務局) 松くい虫対策もここ数年で見直されている。守るべき松林を決めて集中的に伐倒駆除をやっていく。被害が大きい地域は、樹種転換や間伐、松茸山の地域は、樹幹注入等に切替えていくべきと考えている。 (委 員) 空中散布はやらないのか。 (事務局) 健康被害を訴える方の指摘もある。原因が特定できないので休止にしている。 (委 員) 松くい虫被害が、全国2位というのは、施策の違いでなったのか。 (事務局) 施策の変化で全量駆除がなくなった。夏の猛暑で虫の活動が活発化しているなど色々な要因が重なり合っていると考える。 (委 員) 松くい虫被害が拡大する理由として、松茸の産地で産業、観光資源になっていることで樹種転換が進まない。対策として樹種転換だけでなく、守るべき松林の隣に抵抗性松を植え、将来への希望、世代を繋げる事業を展開して行って欲しい。

(事務局) 抵抗性松は、県の林業センターで研究中。平成32、3年ごろに配布できる見込み。県を通じて情報を収集し検討していきたい。

(委員) 有害鳥獣の侵入防止柵、どれくらい自治会要望があるか。また、柵を自治会で設置しているが、高齢化で設置が困難な所がある。設置作業にも補助する考えはないか。

(事務局) 自治会要望の詳細は、資料が手元にないので不明だが、6km分の予算である。現在は材料支給のみで設置費用は出していないが、検討していきたい。

(委員) 鹿からダニやウイルスも検出されており、感染症の心配もある。農作物被害だけでなく、違った視点からも柵の設置を考えて欲しい。

(事務局) 参考にしてまいりたい。

第二次上田市総合計画について

以下意見

(委員) 農林水産業の振興について、農業についての記述はあるが、林業の振興について記述がないので追加した方が良い。

(事務局) 内部で検討のうえ、事務局と協議したい。

全国植樹祭について

(3) 協議

上田市の林業振興全般について

今後の松くい虫防除対策について

以下意見

(委員) 松茸は地域の重要な収入源、松林を是非守って欲しい。

(事務局) いろんな意見をいただいている。最善な策を講じていきたい。

(委員) 今年から薪ストーブの補助も始まり、広葉樹の需要が見込まれる。赤松林を広葉樹林に転換する事業をお願いしたい。

(事務局) 県にも指導いただきながら実施していきたい。

5 その他 (なし)

6 閉会 (中澤係長)

以上